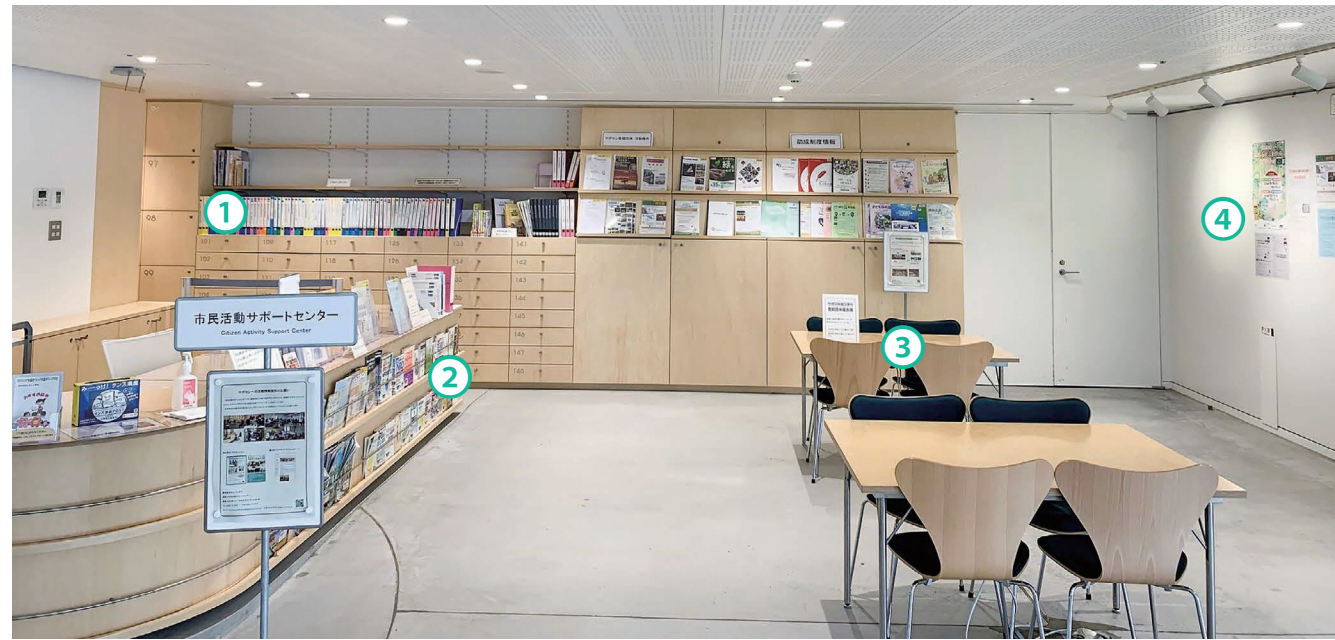


市民活動サポートセンターの紹介



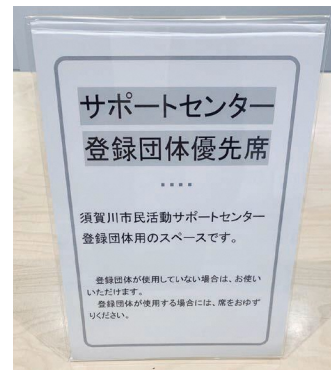
市民活動サポートセンターでは、情報収集や作業の場を提供し、登録団体の活動支援を行っています。



①奥側の棚には、サポセン登録団体の活動が分かる資料等をファイルにして保管しています。どなたでも閲覧できるようになっています。



②カウンターの本棚には、市民活動に関する本を配架しており、貸出可能です。また、カウンターの上には、「サポセンだより」の最新号や「SDGs」関連の本を配架しています。



③こちらのテーブルは、サポセン登録団体の優先席です。情報収集や打合せ等に利用いただけます。

④こちらの壁面には、サポセン登録団体の団員募集・イベントなどのチラシを掲示しています。どなたでも見ることができますので、何かひとつでも興味がある団体を見つけたら、まずは見学から始めてみませんか？
様々なイベントも開催していますので、ぜひ、市民活動サポートセンターにお立ち寄りください。



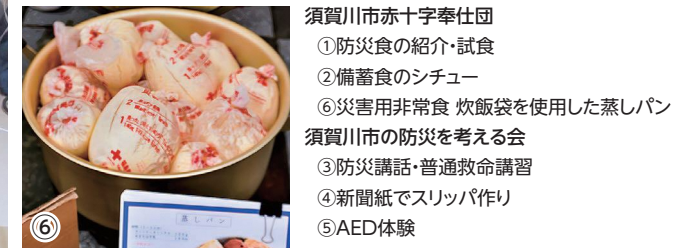
須賀川市民活動サポートセンター(須賀川市民交流センターtette1階)

〒962-0845 須賀川市中町4-1
TEL.0248-73-4407 FAX.0248-73-4410 <https://s-tette.jp>
市民活動に関する相談 9:00～17:00
交流スペースの使用 9:00～21:00(日、祝日は20:00まで)

サポセンだよりをwebでご覧になる方は
こちらから(イベント詳細もこちらから)



須賀川市民活動サポートセンター サポセンだより



須賀川市赤十字奉仕団
①防災食の紹介・試食
②備蓄食のシチュエーション
③災害用非常食 炊飯袋を使用した蒸しパン
須賀川市の防災を考える会
④防災講話・普通救命講習
⑤新聞紙でスリッパ作り
⑥AED体験

表紙

須賀川市防災フェア

令和6年9月29日(日)に須賀川市役所を会場に、広く市民の防災意識の啓発、醸成を目的に、「須賀川市防災フェア」が開催されました。サポセン登録団体から2団体(須賀川市赤十字奉仕団、須賀川市の防災を考える会)が参加し、子どもから大人まで楽しめる体験ブースや展示を設けて活動しました。

特集

～市民のチカラ～ ・キッズ・オハナ

～サポセンレポート～

・須賀川知る古会 ・須賀川手話サークルあゆみ会 ・須賀川地方ユネスコ協会 ・須賀川弓道会 ・npb百笑屋敷 ・子どもの祭典

～市民活動サポートセンターの紹介～

市民のチカラ キッズ・オハナ



活動の きっかけ

須賀川市では、子どもに特化した「いけばな教室」がなかったので、お花に興味のある子どもたちに気軽に体験してもらいたいという思いで立ち上げました。

主な活動

【活動場所】須賀川市民交流センター-tette
【活動時間】7~12月の日曜日(月1回)
午後1時30分~2時30分
いけばなを通して、子どもたちの素晴らしい感性や創造力を育むことを目的としています。また、季節を感じながらその時に使う花材の名前を覚えたり、様々な生け方があることを学んだりと楽しみながら活動しています。第9回サポセンフェスティバルでは、子どもたちが生けた作品を展示しました。

活動の中で よかったこと

いろいろな植物にふれてもらい、植物の名前や切り方、水切りの仕方やお花を大切に扱う心などを知ってもらったことができた。子どもならではの自由な発想や豊かな感性で、毎回とても素敵な作品が出来上がりが喜んでいただいています。

今後の抱負

多くの子どもたちに生のお花の良さを知ってもらい、いけばなを身近に感じてもらいたい。そして日本の伝統文化を大切にすることを次世代にも繋げてもらえたら嬉しい。

サポセンレポート

今号では令和6年9月からの活動をお届けします。各団体とも、様々な工夫を凝らしながら活動を行っています。各団体の活動に興味のある方は、サポートセンターへご連絡ください。

01 須賀川知る古会 「第1回神楽殿子屋」

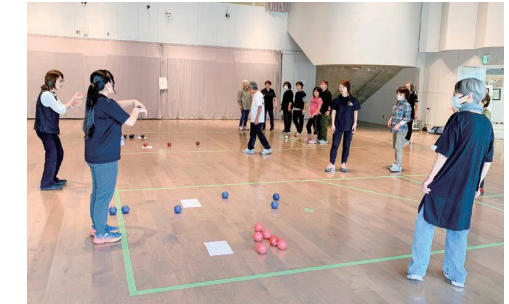


須賀川知る古会は、須賀川の歴史・建築物・景観・樹木・人との交流を通して、まちへの関心や愛着心を深め、誇りを持ち、地域の歴史文化の継承とまちが活性化することを目的に活動しています。

今回は「須賀川の石造物-小松寅吉と須賀川の久保利治氏について-」をテーマに、県南地方の狛犬・石造物が全国的に注目された経緯や背景などについて、石川町郷土史家 吉田利昭氏が講演を行いました。近年、密かなブームとなっている「狛犬巡り」の影響もあり、会員以外にも大勢の参加者が受講しました。

【場所】市民交流センター-tette ルーム5-1
【日にち】令和6年9月29日(日)

02 須賀川手話サークルあゆみ会 「体を動かそう!ポッチャ」



須賀川手話サークルあゆみ会は、「手話を学ぶとともに、ろうあ者と健聴者が互いに知識を高め相互の親睦を図る」ことを目的に出前講座を行いました。県障がい者スポーツ協会より講師を迎え、ポッチャのルールを指導していただきました。手話を交えての説明を受けながら、練習をゲーム感覚で楽しむうちに、いつのまにか試合に導かれ気づけば本気で老若男女問わず取り組んでいました。

【場所】市民交流センター-tette たいまつホール
【日にち】令和6年10月19日(土)

03 須賀川地方ユネスコ協会 「ユネスコ教養講座」



須賀川地方ユネスコ協会は、会員だけでなく、一般の参加者も募集し、本協会の活動の周知と様々な分野の知識を身につけるために毎年「ユネスコ教養講座」を開催しています。今回は、ユネスコエコパークに登録されている只見町を訪れ、自然環境や天然資源を保護・保全しつつ、地域社会経済の発展に取り組む「持続可能な社会づくり」について理解を深めました。

参加者は、「人と自然が仲良く暮らす世界のお手本となる地域」として町全体で取り組みを行っていることに感心していました。

【場所】ただみ・ブナと川のミュージアムほか
【日にち】令和6年10月19日(土)

04 須賀川弓道会 「初心者教室」



須賀川弓道会は、弓道の普及・振興に努め、会員の弓道の研修と体力向上、スポーツ精神の滋養及び、会員相互の親睦を図り、もって社会文化の進展に寄与することを目的に日々の活動に励んでいます。今年、これまで行ってきた初心者教室の内容を見直し、6月4日~7月5日の間に10回開催したところ、小学5年生から60代まで幅広い年代の15名が入会しました。引き続き、新規会員を募集してまいりますので、興味のある方は、見学や体験へ行ってみたいかがでしょうか。

【場所】市武道館
【日にち】令和6年11月8日(金)

05 npo百笑屋敷 「銀河まつり」



npo百笑屋敷は、未来に豊かな環境を残すために、みんなが笑顔で支え合うゆるやかなネットワークを目指しています。心と体と地球のための持続可能な生き方をしている方々との交流になればと、拠点となる銀河のほとりの行事と合わせてイベントを開催しました。今回のイベントでは、自然栽培や有機栽培の生産者の農作物の販売や子ども向けの自然体操や自然療法などを行っているNPO法人などにも協力いただきながら、「おなら笛工作」「足裏マッサージ」「音楽」など幅広い体験コーナーがあり、県内外からたくさんの方が来場し賑わっていました。

【場所】銀河のほとり
【日にち】令和6年11月3日(日・祝)

06 サポセン登録団体13団体 「第48回子どもの祭典」に参加!



「第48回子どもの祭典」が開催されました。サポセン登録団体からは、13団体が工夫を凝らしたブースを出展し、子どもたちと交流を深めることができました。「奥州須賀川太鼓保存会(松明太鼓小若組による演奏)」「須賀川かるた愛好会(百人一首)」「須賀川シニアリーダーズクラブ(パルンアートをプレゼント)」「須賀川市の防災を考える会(防災あそび)」「須賀川市婦人会連絡協議会(輪投げ&スライム作り)」「須賀川手話サークルあゆみ会(手話であそぼ、手話ソング)」「須賀川地区BBS会(フラダンス)」「須賀川地方ユネスコ協会(ペットボトルで空気砲を作ったってゲーム)」「要約筆記通訳すかか(ステージ発表での音声情報を文字にかえて伝える)」「須賀川赤十字奉仕団(手作りのペットボトルモルック)」「ヒッポファミリークラブ須賀川(多言語・国旗クイズ、親子でダンス)」「須賀川地区保護司会(ペットボトルでオリジナルマラカスをつくる)」「須賀川民舞愛好会(日本の踊りを見て、サアー踊ろう)」

【場所】須賀川市民交流センター-tette、翠ヶ丘公園エリア
【日にち】令和6年10月13日(日)